

## 数理科学科だより

### 山口 夏の陣

最近起きた「小さなできごと【山口 春の陣】」の続きです。

N先生：「K先生の研究室の番号は139で、ただの素数だね〜。」

そう言われたK先生は調べてみた。

K先生：「139は、1を除く平方数の和で

$$2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 + 6^2 + 7^2 = 139$$

となるよ。N先生の研究室番号144のように、（1以外の）

フィボナッチ数でかつ平方数である唯一の数のように

高級な表現でないさ〜。単純だね！ それ以外にも、

連続する5つの素数の和で

$$19 + 23 + 29 + 31 + 37 = 139$$

とも書けるし、その他にもあるよ。ラマヌジャン先生に

夢の中で尋ねてみるね。」

「数」には様々な性質があり単純なほど面白い。例えば、6以上の偶数が2つの奇素数の和で表すことができるだろうか。当たり前なようで当たり前でない。不思議だね！！

(文、挿絵：木内 功)



編集：山口大学理学部数理科学科

連絡先：083-933-5210 (理学部学務係)

<http://www.sci.yamaguchi-u.ac.jp/dep/math/ex>